

## 6 純資産変動計算書（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

### 純資産変動計算書（普通会計）

平成26年度末の純資産残高1兆20億円に対し、平成27年度末の純資産残高は9,865億円となっています。

主な増減要因としては、一般財源と国の補助金等受入により3,897億円増加する一方、平成27年度の純経常行政コストにより4,035億円減少しています。

また、災害復旧事業費などの臨時損益が、15億円減少したことなどから、1年間で純資産残高は155億円減少しています。

（単位：億円）

	純資産合計	公共資産等整備 国補助金等	公共資産等整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
平成26年度末純資産残高	10,020	4,836	11,883	△ 6,623	△ 76
純経常行政コスト	△ 4,035			△ 4,035	
一般財源					
地方税	1,835			1,835	
地方交付税	1,139			1,139	
その他行政コスト充当財源	357			357	
補助金等受入	566	155		411	
臨時損益					
災害復旧事業費	△ 19			△ 19	
公共資産除売却損益	0			0	
投資損失	△ 5			△ 5	
損失補償等引当金繰入等	9			9	
科目振替		△ 204	△ 3	303	△ 96
資産評価替えによる変動額	2				2
無償受贈資産受入	0				0
その他	△ 4		△ 4		
平成27年度末純資産残高	9,865	4,787	11,876	△ 6,628	△ 170

